

# 『まえがき』

彦根市教育委員会 教育長 前川 恒 廣

彦根市民文芸作品入選集の発刊も今回で五十回目を迎えることとなりました。

このように長きにわたり続けられてこられましたのも、本市はもとより、近隣の市町から多数ご応募をいただいた文芸を愛する皆様のおかげであると深く感謝申し上げます。

文部科学省が定める新学習指導要領で「国語力」は全ての教科の基本と位置づけられていることからわかるように、教育の現場でも言語活動の充実に重点が置かれています。

社会の変化が急速に進む中で、各人がその変化に対応するためには、自身で考え（思考力）、他者との関わりを考慮しつつ（判断力）、それを伝える（表現力）といった能力が重要視されています。

彦根市教育委員会でも、「国語力は人間力」とし、国語力の向上は人間力が成長する事に大きく関わっていると考え、市内小・中学生を対象とした「ひこね子ども文芸作品」の募集および、作品集の発行や、作品作りについてより深く学ぶ機会を設けることを目的とした「夏休み文芸ワークショップ」などの次世代育成をはじめとした市民の交流と主体的な文化芸術活動の推進に取り組んでおり、市民文芸作品の募集は、ふるさと彦根の豊かな自然や歴史、文化に触れ、豊かな感性で作品を創造する機会であるとともに、この入選集を通じて文芸の魅力を伝える非常に重要な事業であります。

入選されました作品を拝見いたしますと、人が生活を営む中で生まれた様々な感情が個性豊かに紡がれており、その表現方法も千差万別です。そういった個性に触れることで、読み手が新たな創作意欲を沸き立たせ、読み手から作者へ転じたり、表現の可能性を広げるきっかけを見つけ出すきっかけにこの作品集がなることを期待しております。

最後になりましたが、多くの優れた作品の中から入賞作品を審査いただきました選者の皆様、ならびに作品をお寄せいただきました出品者の皆様に心からお礼を申し上げ、発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

平成二十六年七月